

令和5年度 第2回川崎市宮前市民館専門部会会議録（要旨）

日 時 令和5年9月20日（水） 10:00～12:00

会 場 宮前市民館 4階 第4会議室

出席者 部会長 川西 和子（調査モデレーター・分析・各種司会）
副部会長 山本 良子（宮前第4地区民生委員児童委員協議会 会長）
委 員 山本 太三雄（菅生分館利用者懇談会）
高久 實（宮前区全町内・自治会連合会 理事）
檜崎 光雄（市民委員）
當間 幸江（宮前区PTA協議会 副会長）
欠席者 渡辺 美代子（宮前区文化協会 会計）
丸尾 明彦（川崎市立西有馬小学校 校長）
事務局 宮前市民館 大木館長・徳原係長・齋藤主任・山澤
菅生分館 田添分館長

会議の成立 委員8名中6名出席のため、成立

会議の公開・傍聴人 なし

次 第

1 宮前市民館長あいさつ

2 議事

(1) 報告事項

・宮前市民館・菅生分館の社会教育振興事業について

(2) 協議事項

・今期の研究課題について

(3) その他

・第3回・第4回（宮前市民館専門部会および市民自主学級・市民自主企画事業の
提案会と選考）の日程について

配付資料

資料1 令和5年度 宮前市民館 社会教育振興事業実施状況

資料2 令和5年度 宮前市民館菅生分館 社会教育振興事業実施状況

(参考)

●宮前市民館だより 第250号(9月1日発行)、第251号(10月1日発行)

●菅生分館だより 第179号(9月1日発行)

●宮前市民館事業チラシ

○「夏休み子どもあそびランド2023」

多様な主体が参画する子どもあそびランド事業

○「宮前を知ろう歩こう楽しもう」

市民自主学級

○「お誕生日にオリジナル絵本を贈ろう」

地域コミュニティ交流・学習事業

○「みやまえ子育てフェスタ 2023」

課題別連携事業

○「ボランティアによる、無料出張スマホ相談会」(9月)

現代的課題学習事業

○「ボランティアによる、無料スマホ相談会」(10月)

現代的課題学習事業

●菅生分館事業チラシ

○「赤ちゃん期の今だからできること きいてみよう! やってみよう!

家庭・地域教育学級

○「誰でもわかるスマホ教室」

市民自主企画事業

○「菅生の現代史 菅生百年のあゆみ」

現代的課題学習事業

1 宮前市民館長あいさつ

2 議事

(1) 報告事項

・宮前市民館・菅生分館の社会教育振興事業について

宮前市民館・菅生分館の社会教育振興事業について、資料1に基づき、徳原係長から説明を行った。

(補足説明)

・障がい者社会参加活動について、10月に宮前市民館としては約10年ぶりとなる路線バス等の公共交通機関を使っての遠足を行う。行先は生田緑地。

・夏休み子どもあそびランドは、コロナ前と同じく事前予約不要の自由参加とした結果、来場者3,000人と盛況であった。

・地域コミュニティ交流・学習事業[お誕生日にオリジナル絵本を贈ろう]については、9月15日に申込を開始し、17日には定員いっぱいとなったため、会場のキャパシティも勘案しながら、定員を増やして対応している。

・みやまえ子育てフェスタは、コロナ前に行っていたふれあい動物広場など、様々なイベントが実施される予定。

菅生分館の社会教育振興事業について、資料2に基づき田添分館長から、説明を行った。

(補足説明)

- ・市民エンパワーメント事業では、事業終了後に、参加者に声を掛けて「同窓会」を行った。その際、11月の菅生地区でのお祭り（すがお手つなぎまつり）のお手伝い参加を呼びかけたところ、協力できると言ってくれる人も出てきた。
- ・現代的課題学習支援事業では、来年の川崎市制100周年にちなみ、[菅生の現代史 菅生 100年のあゆみ]として、地域の菅生地区に非常に詳しい方に100年前の菅生の様子についての講義を行っていただく予定。また、講座では前自治会長にも講師となっただき、平瀬川の流域であるとか、町内会等の地域コミュニティの現在についても講義していただく予定。
- ・現代的課題学習支援事業 [はじめての絵本作り講座] ではタウンニュースで紹介されていた宮前区在住の絵本作家に講師をやっていただけることになった。

(質疑応答)

高久委員

市民館の地域コミュニティ交流・学習事業 [お誕生日にオリジナル絵本を贈ろう] は非常にいい企画だと思う。ただ、向丘地区等からは会場が遠い。出張所を活用しては。また、いい企画なので、定員20人はもったいない。今後はより広く周知・PRできる方法等を考え、子どもたちを対象とする場合には学校等と連携すべきだと思う。

現代的課題学習支援事業 [菅生の現代史 菅生百年のあゆみ] については、事業で作成された資料等を出張所のロビー等で展示してはどうか。菅生分館の中で留めてはもったいない。

徳原係長

[お誕生日にオリジナル絵本を贈ろう] については、親子での申し込みが多く、地区ではやはり宮前地区からの参加者が多い。スマホ講座や人材育成関係の講座等は、今年度、出張所でも行うが、引き続き出張所と連携を進めていきたい。

田添分館長

100周年記念事業となっている絵本に関する講座は、菅生分館では子ども向けではなく、主に大人向けの内容となっている。[菅生の現代史 菅生百年のあゆみ] を講座として出張所で行うことは難しいが、図書コーナー等に資料の展示はできると思う。

高久委員

今後の区役所移転等を考えると、出張所の重要性は増していくと考えられる。さらなる活用を。

山本太三雄委員

横須賀で行われた「第26回戦争遺跡保存全国シンポジウム」に参加してきた。その際に横浜国立大学の教授から、「エコミュージアム」という考えについてお話があった。各地域の歴史的価値があるものを建物の中に集めて展示するのではなく、各地域に置いたまま保存すべきものを保存、宣伝するといった考え方。館山では市役所と協力しながら古民家の保存や、家屋内で発見された文書の解説等を進めているようだ。そういった取組が各地で増えているようであり、取り入れていくべき考えだと思う。

慶応大学日吉キャンパス敷地内にかつて日本海軍本部の通信隊があった。遺されていた零戦特攻前の最後の通信音を現地で聞けるようになっていたが、コロナで中止されていた。今年に入り、日吉小学校にて出張授業で行ったところ、大きな反響があった。ロシアとウクライナとの戦争もあって、戦争というキーワードに関心が高まっている。100周年記念事業も、そういったことも踏まえて行ってほしい。

檜崎委員

市民館だよりを専門部会からのアドバイスにより改良してもらったところだが、今回の改良の効果について、レイアウトの変更前と後で講座の参加者数などに変化があったのか。参加者数等を数字で追えないか、また、参加者数を折れ線グラフにすると分かり易い。視認性などについても利用者の意見を聴けるといい。

識字学習活動のボランティアは大人気で、申込開始後数時間で埋まるようだ。有償なのか。

徳原係長

交通費相当の400円の徴収なので、ほぼ無償といえる。

檜崎委員

これだけボランティアをしたい人が多いのであれば、外国籍の方が暮らしやすくなるように、さらなるサポートができるようになっていくといい。

成人教育事業の「今の自分をこれからにつなげるために～30歳の自分史～」という講座は保育まで用意していい企画と思うが、参加が少なかった。なぜか。

徳原係長

育児休暇中の世代が多いから、保育を付けた。参加者8人中保育は3人

育休中か専業主婦の方。専業主婦が多かった時代は、成人教室が育児の息抜きとしての側面もあったが、育児休業中には子どもと一緒に何かをしたいといった需要のほうが多いようで、ニーズのずれがあったのかもしれない。

山本良子副部長

現代的課題学習支援事業〔菅生の現代史 菅生百年のあゆみ〕はいい企画だと思う、講座の内容は何か冊子等で形に残るのか。

田添分館長

講師の方は何冊も地域の歴史資料を作って菅生分館に提供してくれているが、そういった中の1冊として形になっている。図書コーナーで皆さんに見てもらえるようにしていく予定。

山本良子副部長

せっかくの100周年のタイミングなので、野川地域など他の地域でも資料を作り、宮前区として取りまとめた資料を作るような企画があるといいと思う。

徳原係長

地域ごとに詳しい方はいるようではあるので、より地域と近い距離で市民館として活動を行い人との繋がりを広げていきたい。委員の中で、知っている人等がいれば、是非紹介していただきたい。

山本良子副部長

各地区の民生委員児童委員協議会の会長に聞いてみると、適当な人材の発掘ができると思う。

川西部会長

できればいいねという企画段階の事業等について、実現のために必要な人材の募集を市民館だよりで行ったらどうか。実施が決まった企画以外の内容も載せては。

菅生分館で行っている、事業終了後のフォローとしての同窓会は、人とのつながりや、各種活動が継続的に行われるきっかけとなる有効な手段だと思う。

檜崎委員

来年は、市制100周年を迎える滅多にない機会である。各地域の歴史の取りまとめなど、積極的に行った方がいい。

山本太三雄委員

有馬・野川生涯学習支援施設（アリーノ）のあり方が気になっている。指定管理者であっても、市民館、菅生分館と同じようなスタンスであるべき。

大木館長

現在、毎月アリーノと定例会を行い、意見交換を行っている。区役所と民間がそれぞれ異なるノウハウ、長所を持っているため、市民館、アリーノ、菅生分館の担当者が情報共有し、意見交換できる機会を今後作りたいと考えている。

山本太三雄委員

馬絹地区にあった連絡所は地区会館になり、ただの貸し館となったように思える。そちらの生涯学習的な活動はどうか、どうしていくのか。

大木館長

現状では、地域住民の活動場所として使われている。

田添分館長

予算が工面できれば、菅生分館の看板を新調し、分かりやすく、明るいものにしようと思っている。看板のデザインについては「お誕生日にオリジナル絵本を贈ろう」の講師を依頼する絵本作家の協力も得て、いくつかの候補の中から、市民に選んでもらうことを考えている。

（２）協議事項

川西部会長

今期は、生涯学習の推進にあたり、どうやったら市民に広報できるのかということテーマとして議論をしてきた。そのうちのひとつとして、市民館だよりのレイアウト改良を検討した。檜崎委員からも意見があったが、改良の効果について確認していく必要はあると思う。親子学級の参加者にヒアリングするのも一つの方法ではないか。

これまでの議論の中で、すでに色々な意見や案が出ている。例えば、情報発信のデジタル化、市民館の名称変更、シニア世代向けのスポーツ企画等の特集物、子育て世代向けの施策、学校等の連携の緊密化等などがあり、これらを踏まえて、報告書にまとめたいと思っている。

山本太三雄委員

報告書はいつ出すのか。

山本良子副部長

来年2月の第4回専門部会になる。

川西部会長

12月の第3回専門部会に案を出せるように進めていきたい。他に議論したほうがよい事項はあるか。

檜崎委員

宮前区100年の歴史の編纂を提案事項として出したらどうか。

川西部会長

市制100周年に係る取り組みはすでに何か始まっているのでは。

徳原係長

市制100周年のプレ事業として、さきほど紹介した絵本をつくる企画がある。来年度には、オリジナル絵本コンテストや、今、区内で実施されている「ロゲイニング」的な企画を100周年事業として行うことが決まっている。

山本太三雄委員

例年作成している活動報告書の100周年記念版のようなものは企画されているのか。

徳原係長

特にない。

山本良子副部長

今期の課題は区民に市民館をどのように親しみやすくするかを議論してきた。

檜崎委員

それはそれでまとめるとして、さらに100周年に絡めた取組についても議論しても良いのではないか。

當間委員

市全体の話である市政100周年に向けて、宮前区単独で取り組むことには違和感がある。歴史の編纂といっても、来年いきなり行うのは難しいのでは。この間宮前区は40周年だった。宮前区の50周年を目指して作れるように、今から、歴史に詳しい人材を探してくという考えもあるのでは。

大木館長

郷土史のような冊子を区内の各地区で作製していくのはハードルが高いと思う。詳しい人に地域の歴史についての講話等を行ってもらえば、現実的ではないか。菅生の事例を参考に、できることはないか検討したい。

山本良子副部長

詳しい人に資料を作ってもらおうとしても、本当に史実に則しているかどうかは留意する必要がある。

大木館長

それもあるので、語ってもらおうといった形のほうがやり易いかもしれない。

山本太三雄委員

先ほども話したが、横浜国立大学・大原教授によるエコミュージアムという考え方も検討してほしい。

山本良子副部長

今期の研究課題は、市民館だよりを親しみやすくするという目標を立てたということでもいいか。

その一環として、市民館だよりを活用して、歴史に詳しい人を募集していくことも考えられるのではないか。

川西部会長

改良した市民館だよりへの反応はどう確認するか。

當間委員

当初、ヒアリングを行った親子学級で再びヒアリングしてはどうか。

高久委員

親子学級に限らず、市民館の会議室等を利用している人に生の声を聴いてみてはどうか。幅広い世代からの意見を聞ける方が良い。

大木館長

会議室利用者の場合、時間的な余裕がなく入替えの時間も限られているので、運営上アンケートを取るのが難しいことが想定されるが、できることは協力したい。

當間委員

市民館だよりの読者にアンケートをとったらどうか。紙面にアンケートフォームにつながる二次元コードを掲載すれば、熱心な読者の意見を聞ける。

大木館長

読者は少ないかもしれないが、メルマガもあるので、アンケートをとることができる。

徳原係長

次の市民館だよりは10月の頭に入稿となるため、12月号にアンケートを掲載することは可能。

大木館長

会議室は時間的な制約があるが、ギャラリーの利用者なら、ヒアリングすることができそうだと思うので、可能な部分で協力したい。

川西部会長

アンケート項目については、今、話し合っ決めてたい。

→委員からの意見を踏まえて、①リニューアルを知っているか、②どう思うか、③なにか提案はあるか、④年代、⑤どこで市民館だよりを見たか、の5項目を基本とし、○をすることで回答できるようになど、簡単に回答できるものとする。

徳原係長

話に出た5つの項目で統一し、市民館だより等からリンクを貼ったものと、ヒアリング用のものの2種類のアンケートをこちらで作成する。

當間委員

親子学級の参加者には前回意見を聞いているので、継続調査として聞いたほうが良い。

山本良子副部会長

10月21日に開催されるみやまえ子育てフェスタの際に聞くのはどうか。

複数の委員

区民祭はどうか。

徳原係長

区民祭は人数が多く、難しいと思われる。子育てフェスタは市民館のイベントなので、区民祭より子育てフェスタの参加者の方が、市民館だよりを見ている可能性が高い。親子学級へのヒアリングについてはいくつか候補日を確認し、後日お伝えする。

大木館長

ヒアリングはいつまでに行うのか。

川西部会長

10月、11月でヒアリングか実施できればいいのではないかと。

徳原係長

QRコードのアンケートは、市民館だより12月号に掲載後に集計するため、年明けとなる。

川西部会長

親子学級等でのヒアリング結果について、第3回専門部会で共有したい。

高久委員

親子学級だけでなく、スマホ相談会の場で聞く等、色々な年代の意見を聞けるとよい。

徳原係長

スマホ相談会などの市民館主催事業なら、いろいろご意見をいただけたらと思う。

山本良子副部長

10月～11月のプロジェクトチーム委員会は、いつ実施するか。

川西部会長

メールで連絡したい。

(3) その他

今後の日程を次のとおりとした。

第3回専門部会 令和5年12月6日(水) 午後2時～4時

第4回専門部会 令和6年2月18日(日) 午後1時～5時頃(予定)